

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
民法 I	照井 遥瑛	講義	4		1, 2, 3	1, 2, 5	2, 3, 4
授業概要 授業目的	民法は、人と人との生活関係（ゲームやパソコンを買う、アパートを借りる等）と身分関係（結婚をする、離婚をする、相続をする等）に関する基本的ルールを定めている法律です。この授業では、民法についての全体像の概説をした上で、民法総則、物権法、担保物権法を取り扱います。初学者でも理解しやすいように、具体的な事例をできるだけ多く取り上げ、それに即して基本的な事項や判例・学説を解説します。						
到達目標	①民法総則、物権法、担保物権法の基礎的知識を身に付け、自分なりに説明できる。 ②日常生活で法的問題に直面したときに、それに適用すべき民法の条文とそれによって想定される結果について、自分の考えを論理的に説明できる。						
回	学習内容		回	学習内容			
1	ガイダンス、民法の構造		16	時効③：消滅時効			
2	民法の基本原則		17	物権とは、物権の種類			
3	権利能力、意思能力		18	物権的請求権			
4	行為能力		19	不動産物権変動			
5	法律行為とは、意思表示とは		20	動産物権変動			
6	意思表示①：心裡留保		21	所有権			
7	意思表示②：虚偽表示		22	占有権			
8	意思表示③：錯誤		23	地上権、地役権ほか			
9	意思表示④：詐欺・強迫		24	担保物権とは			
10	代理①：代理とは		25	抵当権①：抵当権とは			
11	代理②：表見代理		26	抵当権②：抵当権侵害、物上代位ほか			
12	代理③：無権代理		27	質権			
13	無効・取消し、条件・期限		28	留置権、先取特権			
14	時効①：時効とは		29	譲渡担保			
15	時効②：取得時効		30	期末試験（60分）、試験終了後に解説（30分）			
予習内容 復習内容	予習：教科書の該当箇所に通すこと。 復習：教科書、自作ノート、授業資料を再確認し、授業内容に対する理解を深めること。						
教科書	生田敏康ほか『民法入門』（法律文化社、第2版、2021年） 最新年度版の小型六法（「ポケット六法」や「デイリー六法」など） 授業ではパワーポイントを用いて解説します。スライド資料は事前にオンライン上で配布します。						
成績評価	出席時に提出するレポート内容（50%）、期末試験（50%）で成績評価を行います。成績評価方法の詳細は初回講義の時に説明します。						
実務経験							
その他 特記事項	小型六法は最新年度版のものを必ず持参してきてください。民法 I は、抽象的な条文を多く扱うため、これから民法を学ぼうとする皆さんにとって最初のハードルとなると思いますが、この講義で修得した知識が今後履修する民法各科目の基礎となりますので、焦らず・諦めずに予習・復習に努めることが肝心です。						